



気候変動への対応 (TCFD) | 温室効果ガス削減の取り組み状況／排出量

GRI 305-1,2,3,4,5

温室効果ガス削減の方針

地球温暖化の進行は、化石燃料の消費による温室効果ガスの排出増加に起因しています。この気候変動による悪影響は、豪雨や洪水などの自然災害の増加、食糧資源や水資源の減少、猛暑や感染症の発生など、私たちの生活や生態系に大きな脅威をもたらしています。

私たちは、気候変動の緩和と脱炭素社会の実現を目指すため、積極的な取り組みを行っています。私たちは、パリ協定で定められた目標である平均気温上昇を2℃よりも十分に下回ること(2℃目標)や、可能な限り1.5℃まで抑える努力を支持しています。そのために、私たちは温室効果ガスの排出削減に取り組んでおり、2050年までにカーボンニュートラルを達成することを目指しています。また、2030年度までに2013年度比で40%以上の削減を目標に掲げています(GHG排出削減中期目標)。

私たちは、2022年から気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言にも賛同し、透明性のある情報開示を行うとともに、2024年度からはGXリーグにも参画し、自社の温室効果ガスの排出削減に注力するだけでなく、環境配慮型の製品とサービスの提供を通じて、気候変動の緩和に貢献してい

きます。私たちは、持続可能な未来のために行動を起こし、社会とともに成長していく決意を持っています。

業界団体を通じた活動

日油は、「日本石鹼洗剤工業会」と経産省による「GXリーグ」の2団体の取り組みを支持し、所属しています。それぞれの団体で議論される、気候変動の課題解決に向けた方針や最新の動向を積極的に取り入れ、日々の活動に活かします。また、団体ごとの目標に取り組むとともに、日油としての方針や戦略に矛盾が生じないように、整合性を図っています。さらに「日本石鹼洗剤工業会」では、理事 環境委員長を務めており、業界全体の気候変動対策を推進します。